

教科	美術	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
オリエンテーション ・美術との出会い ・アニメーションの背景画から ・風景を見つめ直して ・学びの言葉 松任谷由実 ・中学校美術の世界へようこそ	1	○小学校の図画工作から中学校の美術へスムーズに移行するために活用する。 ○美術は難しいのではないかと不安を感じている生徒が、3年間の学びのつながりや広がりを見通せることで安心して意欲的に取り組める。 ○美術の学びが小学校から、そして中学校卒業後もつながっていくイメージを抱かせるなどして、生徒の興味を喚起したい。			
見つめて、感じて、描いて A表現(1)ア(ア) (2)ア(ア) B鑑賞(1)ア(ア) 【共通事項】(1)アイ 主な学習内容 ○身近なものや愛着のあるものをよく見たり、触ったりして特徴を捉え、主題を生み出す。 ○主題を基に、全体と部分との関係を考えるなどして構想を練る。 ○鉛筆や絵の具の特性を生かして、意図に応じて工夫して表す。 ○互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。	3	題材の目標 ○身近なものや愛着のあるものを見つめ、感じ取った形や色彩、明暗、質感などの特徴や美しさを基に主題を生み出し、表現方法を工夫して絵で表現する。 ○一連の活動を通して、豊かに感じ取る楽しさを味わわせ、造形的な見方・考え方で対象を捉えようとする態度の育成につなげるとともに、創造活動の喜びを味わわせたい。	○形や色彩、明暗、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさ、印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 ○線の強弱や水加減などの鉛筆や絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。	○身近なものを見つめ感じ取った形や色彩、質感の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 ○造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	○美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近なものの特徴や美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 ○美術の創造活動の喜びを味わい楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
文字が生み出すイメージ A表現(1)ア(ア) (2)ア(ア) B鑑賞(1)ア(ア) 【共通事項】(1)アイ 主な学習内容 ・「レタリング」 (明朝体・ゴシック体) ・「オノマトペを形にする」 ○身近なところにあるデザインされた文字を鑑賞し、形や色彩から受けた印象やその違いについて考える。 ○文字の意味やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などとの調和を考えてデザインする。 ○互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。	3 7	題材の目標 ○文字の基本、文字を美しく装飾するだけでなく、伝達するという文字の役割を理解し、読みやすく目的に即した文字をデザインすること、そのためのレタリングの基本を押さえ、文字の骨格や読みやすさなどを理解させたい。 ○イメージや伝えたい内容が相手に分かりやすく伝わるよう、形や色彩、構成を考え、材料や用具などを工夫して文字をデザインする。	○文字や文字が意味するものの形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、伝達する内容を全体のイメージで捉えることを理解している。 ○絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。	○文字の意味やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などとの調和を考え、表現する構想を練っている。 ○文字の意味と分かりやすさとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	○美術の創造活動の喜びを味わい楽しく意味や美しさなどを生かして文字をデザインするなど伝達のデザインの目的や機能を考えて構想を練ったり、意図に応じて工夫し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 ○美術の創造活動の喜びを味わい楽しく文字の意味と分かりやすさとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
色彩の基本・仕組み 主な学習内容 ・「身の回りのさまざまな色」「三原色」「混色と重色」「色の対比・同化」「色の感じ」「色の三属性」「明るさが違うと」「鮮やかさが違うと」「色の誇張・収縮・進出・後退」など 彩色演習を含みながら学び知る。	8	○美術作品や日常の場面にする製品、案内標識といった公共物などの色が、どのような意図を持って使用されているかという視点の観察を通して、作品制作における色彩活用につなげたい。 ○配色の違いによってどのように印象が変わるかを比較したり、色の対比や同化効果の具体的な観察したりするなど体験的な学習を重ねる。			
つなげて広がる模様の世界 自然の美しさから生まれた「植物の形から」 A表現(1)イ(ア) (2)ア(ア)(イ) B鑑賞(1)アイ(イ) 【共通事項】(1)アイ 主な学習内容 ・植物のスケッチ ・強調・単純化・省略 ・彩色の基本 ○自然の美しさを取り入れたデザインを鑑賞し、気付いたこと、感じたこと、考えたことなどを話し合う。また、それをデザイン「平面構成」する。	15	題材の目標 ○自然物を発想の源としてつくられたものや自然の造形を生かした建業の装飾の工夫や美しさを感じ取り、生活の中の美術の働きを理解する。 ○モチーフを単純化や強調化するなどして表す方法を身に付ける。また、連続してつなげたり、重ねたり、大きさを工夫したりする方法を考えることで新たな形を生み出す楽しさを味わい、生活を豊かにする美術の働きに気づかせたい。	○形の規則性や連続性、構造などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、美しさや特徴、印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 ○自然物や人口物などの形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさなど全体のイメージで捉えることを理解している。 ○材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。	○自然の造形を取り入れた形や構成の美しさなどを感じ取り、作者の意図と工夫や、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 ○身近な自然物や人口物など特徴やイメージなどから主題を生み出し、形や色彩の構成を工夫したり、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考えたりして、表現の構想を練っている。	○美術の創造活動の喜びを味わい楽しく自然の造形を取り入れた形や構成の美しさなどを感じ取り、作者の意図と工夫や、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ○美術の創造活動の喜びを味わい楽しく構成や装飾との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

材料に命を吹き込む A表現(1)ア(ア) (2)ア(ア) B鑑賞(1)ア(ア) 【共通事項】(1)アイ 主な学習内容 ○木や石、日用品などの形や色彩、質感などの特徴から主題を生み出す。 ○主題を基に、全体と部分との関係を考えるなどして構想を練る。 ○粘土などの特性を生かして、意図に応じて工夫して表す。 ○互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。	8	題材の目標 ○材料の形や色彩、質感などからイメージを広げて主題を生み出し、材料の組み合わせ方や用具を工夫して立体で表す。	○材料の形や色彩、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、何かに見立てたりするなど全体のイメージで捉えることを理解している。 ○粘土などの生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。	○材料を見つめ感じ取った形や色彩、質感の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 ○造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	○美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近な材料の特徴や美しさなどを基に見立てるなどして構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 ○美術の創造活動の喜びを味わい楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
---	---	---	---	---	--